

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2022018

プロジェクト名 五感で感じよう！宮大工体験！

プロジェクトの概要

宮大工は日本が誇る伝統技術であるが、少子高齢化や厳しい修行により若者から敬遠され、若手大工の減少が課題となっている。そこで、未来を担う子どもたちに宮大工の仕事を直で体験し、学ぶ機会を設ける。関心を深めることで宮大工が将来の職業の選択肢の一つとなることを目標とする。主なプロジェクトは、中高生を対象とした神棚作りのワークショップを開催する。プロジェクトメンバーが宮大工を体験する。これらをSNSで発信する。以上3点である。

プロジェクトの結果・成果

① 神棚作りワークショップ

参加者は、日本大付属の中学校・高等学校への周知、生産工学部のオープンキャンパスでのポスターを配り、インスタグラムの投稿、宮大工養生塾のYouTubeを通して募集し、高校生6名、大学生2名が集まった。WSは宮大工養生塾協力のもと講師3名を迎えて、8月28日(日)午前9時～12時半に旧三鶯八郎右衛門家住宅で開催した。開催場所や宮大工についての講義を交えながら神棚作りを行った。参加前後に行ったアンケート調査では、WSに参加する前と後では宮大工に対する関心が増大し(3ポイント増)、より専門的なプログラムほど宮大工への興味に影響を与えているという結果を得た。

② 宮大工体験

プロジェクトメンバー6名で、11月26日(土)13時～16時、宮大工養生塾神奈川校にて宮大工体験をしに行った。刃物研ぎ、貫穴彫り、鉋削り、木組みの体験を宮大工さんからマンツーマンで習い、宮大工についての関心を高めた。

③ SNS発信

インスタグラムのアカウントを作成し、宮大工についての発信を行った。フォロワー0人から29人(2月27日時点)まで増やすことが出来た。宮大工になるための方法や宮大工の年収、実際の生活などを発信していくと更に良いSNSの活用になると考える。

プロジェクトを通して宮大工について学び発信してきたが、関心や興味を持つことと宮大工が職業選択になるにまでは大きなギャップがあり、後継者不足の解消までは難しいと感じた。ただ、宮大工について知らない人に対して知るきっかけ作りが出来たと考える。

活動写真

